

令和6年8月8日 部長会議

開催日時 令和6年8月8日(木) 午前9時00分から午前9時10分まで

開催場所 庁議室

出席者 市長、辻川副市長、南川副市長(総務部長事務取扱・法令遵守監事務取扱)、教育長、総合政策部長、総合政策部理事(草津未来研究所担当)、総合政策部理事(経営・DX戦略担当)、危機管理監、まちづくり協働部長、環境経済部長、健康福祉部長、健康福祉部理事(健幸都市づくり・地域共生社会推進担当)、子ども未来部長、都市計画部長、建設部技監、建設部長、建設部理事(住宅担当)、上下水道部長、教育部長、教育部理事(学校教育担当)、議会事務局長

欠席者 なし

議事概要 下記のとおり

1. 市長訓示

- ・国県要望について、8月5日と7日に、今年の県に対する要望活動を終えた。県の回答については、まとも次第皆様に周知するので、更なる要望や次の活動に繋げていって頂きたい。各部においては、引き続き国や県からの情報入手にも努めていただき、市施策の推進のために国や県としっかり協力するよう進めて頂きたい。また私も必要に応じて、直接国や県に出向くので、申し出をしていただきたい。
- ・来週からお盆の期間に入る。例年同様、14日から16日にかけて、「夏季集中休暇期間」を設けているので、計画的に休暇を取得していただき、健康の維持と家族サービスなどに努め、日頃の疲れを癒し、各自リフレッシュしていただきたい。

2. 重要報告

(1) 令和6年度全国学力・学習状況調査結果について

【資料: 当日配布】

【教育部理事(学校教育担当)から資料に基づき説明】

- ・小学校6年生と中学校3年生を対象に、教科に関する調査と生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査が実施され、教科に関する調査では、今年度は小中学校とも国語と算数・数学の2教科で実施された。
- ・教科に関する調査の結果は、今年度も小中学校ともに国語と算数・数学の両教科で、滋賀県並びに全国の正答率を上回った。本市が滋賀県・全国の平均を上回るのは、コロナウイルス感染症流行後、令和3年に正式調査が再開されてから4年連続となる。
- ・生活習慣や学習環境等に関する調査結果については、小中学校ともにいじめを許さない意識やICT機器の活用頻度が全国を上回る結果となった。また本市の昨年の結果に比べて、自己有用感、人のため社会のために役立つ人間になりたいという意識、総合的な学習の時間の充実度が伸びている。
- ・一方、中学校においては、学習状況調査の多くの項目で全国平均を下回る結果となった。このことから各校ごとに結果を分析して改善に向けた取り組みを進めてまいりたい。
- ・今回の調査結果を受けて、教育委員会としては次の5つの教育施策に取り組むこととし、内容については資料に記載の通りである。
- ・今回の調査結果については市議会へ報告の上、市ホームページで公表させていただくので、ご承知おき

いただきたい。

3. そ の 他

【教育部長より】

・史跡草津宿本陣については、本年度は耐震工事を6月から実施しているが、令和8年に一般公開30周年を迎える。30周年を機に史跡草津宿本陣を核とした宿場町草津の新たな魅力を発信する取組を進めるため、この度、歴史・観光・教育・中活・地域の担当者が構成するプロジェクトチームの設置について、草津市プロジェクトチームの設置等に関する要綱に基づき申請をさせていただき、7月25日付けで承認をいただいたので報告させていただく。設置期間は今年度3月までとしている。既に8月2日に第1回目の会議を開催させていただき、現状把握や課題の抽出等について議論をいただいたところであるが、今後検討を進めていく中でご協力をお願いすることになろうかと思うが、職員が参画いただいている部局に限らず、皆様方ご協力の方よりしくお願い申し上げます。

このページのお問い合わせ

概要作成担当	草津市 総合政策部 企画調整課 企画調整係
電話	077-561-2320
ファックス	077-561-2489
メール	kikaku@city.kusatsu.lg.jp